

箱の中には、次の部品が入っていますのでご確認ください。



※上記に加えてワイヤレスリモコンキット PAR-SK4TAの場合は、以下の部品が入っていますのでご確認ください。



3 据付方法

2

部品確認

- 1. 上ブタを引き抜き、付属の単3乾電池2個を入れて上ブタを取付けてください。
- 1. 付属のタッピンネジを使用してリモコンホルダーを壁面に固定した 後に、ワイヤレスリモコンをリモコンホルダーにはめ込みます。 ワイヤレスリモコンは下記の場所に取付けてください。
 - ●直射日光の当たらない場所
 - ●近くに熱源のない場所
 - ユニットからの冷風(または温風)が当たらない場所
 - ●ワイヤレスリモコンの操作が容易で、表示部がよく見える場所
 - ●幼児の手が届かない場所

【お願い】

- ※室内に蛍光灯が取付けられている場所には蛍光灯を点灯させ、室内 ユニットが信号を受信することを確認した位置へ取付けてください。 室内ユニットが信号を受信すると"ピッ"と音がでます。
- 「電子式点灯方式の蛍光灯(インバーター蛍光灯など)を付けた室内では、
- -- 信号を受付けない場合があります。

※テレビ、ラジオより1m以上離れた場所に取付けてください。 (画像の乱れや、雑音が生じることがあります。)

※本ワイヤレスリモコンは、受光アダプタ(MAタイプ)に使用できません。



日光があたる場所、湯・油・蒸気が飛散する場所には据付け

ないでください。

4 各種の設定項目

本機では下記の初期設定、操作機能の設定変更が可能です。





図5-2 5-3 時刻表示の変えかたC 工場出荷時:12時間表示 時間 ボタン⑥を押す。

● ■ ■ ボタン⑥を押すごとに 2:00 と 24:00 が切換ります。 **にいい**: 12時間で表示します。

24時間で表示します。

5-4 自動モードの変えかた① 工場出荷時:自動

⊇」ボタン⑦を押す。

- 🔵 ボタン⑦を押すごとに 自動 と 自動2 が切換ります。
- 自動:自動モードを通常の自動として操作します。
- 自動2:自動モードをデュアルオートモードとして操作します。

※室内ユニットのデュアルオートモードの機能有無は、カタログまたは室内ユニットの取扱説明書をご確認ください。

B)

(E)

١F

※自動モードの機能がワイヤレスリモコンと製品側(室内ユニット、室外ユニット)側で異なっている場合は、 ワイヤレスリモコン操作時に以下のブザー音と受光部運転ランプでお知らせをします。 このときはワイヤレスリモコンの自動モードの設定を現在の設定からもう一方の設定に 切換えてください。

5-5 ペアナンバー設定 E 工場出荷時:0

	ギケンのも押す
\sim	小ダノ④を押り。

●ペアナンバー€を"0"~ "3"の間で設定します。

	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	>の側の設定	
	スリムエアコン	マルチニ	Eアコン
ワイヤレスリモコン側	室内制御基板のジャンパー線	室内制御基板	の SW22 設定
ペアナンバー設定	(J41, J42)設定	SW22-3	SW22-4
0	切断せず	ON	ON
1	J41のみ切断	OFF	ON
2	J42 のみ切断	ON	OFF
3	J41,J42ともに切断	OFF	OFF

●設定例 (スリムエアコンの場合)



初期設定では以下の内容を設定できます。

温度単位	°C∕°F
時刻表示	12時間表示/24時間表示
自動モード	自動/デュアルオートモード
ペア No.	0~3
バックライト点灯	する/しない

- 5-1 初期設定モード(機能選択画面)への移行のしかた
 - ●週間スケジュールタイマーが有効になっている場合は1000mmの2000 押して無効にしてください。(週間タイマー ⑥が消灯します。)

ピ−

30

点灯0.5秒 点灯0.5秒 点灯0.5秒

ピ−

40

- 2. 🗵 ボタン②を押す。 ●機能選択画面になり機能No. ④が点滅します。(図5-1)
- 3. 機能 (A)が"1"になっていることを確認し [速定] ボタン③を押す。 ●画面表示設定画面になります。(図5-2)
- 5-2 温度単位の変えかた B 工場出荷時:℃
 - 温度ボタン⑤を押す。
 - 温度 ボタン⑤を押すごとに℃と°Fが切換ります。

L°-

10

20

- ℃:温度を摂氏で表示します。
- °F:温度を華氏で表示します。

- 5-6 バックライト点灯の変えかた() 工場出荷時:ON(点灯)
 (○入切) ボタン(③を押す。)
 (○入切) ボタン(③を押すごとに on と o FF が切換ります。
 on:ボタン操作でバックライトが点灯します。
 o FF:ボタン操作でバックライトが点灯しません。
- 5-7 設定の終了

6 機種設定方法

出荷設定から変更をする場合は、操作対象となる室内ユニットの機能を取扱説明書や技術資料などで確認し機種設定を行ってください。



図6-1



図6-2

6-1 機種設定モードへの移行 (図6-1)

- ■■ボタン①をして停止する。
 ●週間スケジュールタイマーが有効になっている場合は 2.20 ボタン⑥を押して無効にしてください。(週間タイマー ⑧が消灯します。)
- 2. [注意] ボタン②を5秒間長押しする。
 - ●機種設定モードになります。(機種設定No. ⑧が点滅表示)

6-2 機種設定No.入力

◇ ボタン⑤を押す。

●操作対象室内ユニットに対応した機種設定No.を入力します。(工場出荷時は「001」です) 機種設定No.は室内ユニットの取扱説明書をご確認ください。 ※機種設定No.により設定される機能は【風速】、【上下風向】、【運転モード】です。 本機能以外を変更する場合は、以降の個別設定モードに従い設定を行なってください。

6-3 個別設定モード1

操作対象室内ユニットの機能に応じて、項目別に機種設定を行うこともできます。

1) 【運転モード】機能設定(図6-2) (工場出荷時は[設定番号01])

- 1. ____ ボタン③を押す。
 - ●運転モード€が点滅します。
- 2. 🔮 ボタン⑤を押して、設定番号◎を設定してください。

運転モード設定E	設定番号D	運転モード設定E	設定番号①
<u>冷房</u> ドライ 送風 ・ 暖房	01	冷房 送風 自動 暖房	05
<u>冷房</u> ドライ 自動 暖房	02	冷房」ドライ」送風	06
冷房 ドライ 送風 暖房	03	冷房 送風	07
冷房 送風 暖房	04		

※間違えた場合は 取消 ボタン④を押して1の操作からやり直してください。

2) 【風速】機能設定(図6-2) (工場出荷時は[設定番号01])

- 1. 👪 ボタン⑧を押す。
 - ●風速€が点滅します。

風速	記定®	設定番号①
hn X	(4速)	01
h %	(3速)	02
\$ 1	(2速)	03
\$.	(1速、無)	04

※間違えた場合は 取消 ボタン④を押して1の操作からやり直してください。



図6-2

3) 【上下風向】 機能設定(図6-2) (工場出荷時は[設定番号01])

1. 💽 ボタン⑨を押す。

- ●上下風向⑥が点滅します。
- 2. 🚫 ボタン⑤を押して、設定番号⑥を設定してください。

風向自動有の時	風向自動無の時	設定番号し
💘 (ベーン有/スイング有)	🏹 (ベーン有/スイング有)	01
💐 (ベーン有/スイング無)	犭 (ベーン有/スイング無)	02
表示無(ベーン無)	表示無(ベーン無)	03

※間違えた場合は 取消 ボタン④を押して1の操作からやり直してください。

4) 【風速·風向自動】 機能設定(図6-2) (工場出荷時は[設定番号02])

- 1. 1977- ボタン10を押す。
- ●風速、風向の自動⊕が点滅します。(2か所)
- ぶタン⑤を押して、設定番号◎を設定してください。

風向·風速自動設定H	設定番号①
表示無(無)	01
② (有)	02

※間違えた場合は 取消 ボタン④を押して1の操作からやり直してください。

5) 【設定温度範囲】 設定(図6-2) (工場出荷時は[設定番号01])

1. 🗵 ボタン⑪を押す。

●設定温度範囲設定No.①が点滅します。

2. 🔿 ボタン⑤を押して、設定番号①を設定してください。

設定温度範囲設定①		設定番号①
₿↓ (標準)	冷房/ドライ:19~30℃(67~87°F) 暖房:17~28℃(63~83°F) 自動:19~28℃(67~83°F)	01
02	冷房/ドライ:19~30℃(67~87°F) 暖房:10~28℃(50~83°F) 自動:19~28℃(67~83°F)	02

※間違えた場合は 取測 ボタン④を押して1の操作からやり直してください。

※上記標準以外の設定温度範囲設定にした場合、その温度範囲に対応していない機種では 設定できません。対応有無については、カタログまたは空調機本体の据付工事説明書・ 取扱説明書をご確認ください。

6-4 設定の終了

- [速定] ボタン②を5秒間長押しする。
- ●個別設定モード1が終了します。(停止状態になります)

6-5 個別設定モード2

- 1) 個別設定モードへ2への移行
 - 6-1項(機種設定モードへの移行)を行った後、1~4 ボタン⑦を5秒間長押しする。 ●パターンNo. ©が点滅表示(図6-3)
- 2) 【左右風向】 機能設定(図6-4) (工場出荷時は[設定番号02])
 - 1. (ボタン12を押す。
 - ●左右風向設定①が点滅します。
 - 2. 🔿 ボタン⑤を押して、設定番号⑥を設定してください。

左右風向設定①	設定番号D
(無)	01
(有)	02

※間違えた場合は 取測 ボタン④を押してください。

- 機種設定モードに戻りますので、6-5-1)項の操作からやり直してください。
- 3) 【風あて/よけ】 機能設定(図6-4) (工場出荷時は[設定番号02])
 - 1. 🖅 ボタン13を押す。
 - ●風あて/よけ账が点滅します。
 - 2. 🔷 ボタン⑤を押して、設定番号①を設定してください。

風あて/よけ設定𝑀	設定番号①
表示無(無)	01
☐ (有)	02

※間違えた場合は 取消 ボタン④を押してください。

機種設定モードに戻りますので、6-5-1)項の操作からやり直してください。





4) 【ハイパワー】 機能設定(図6-4) (工場出荷時は[設定番号02])

- 1. 🔄 ボタン14を押す。
- ●ハイパワー^①が点滅します。
- ぶタン⑤を押して、設定番号◎を設定してください。

ハイパワー設定①	設定番号D
表示無(無)	01
ハイパワー(有)	02

※間違えた場合は 取消 ボタン④を押してください。

機種設定モードに戻りますので、6-5-1)項の操作からやり直してください。

- 5) 【週間スケジュールタイマー】機能設定(図6-4) (工場出荷時は[設定番号02]) 1. 23 ポタン⑥を押す。
 - 週間タイマー
 ●週間タイマー
 ●週間タイマー
 ●が点滅します。
 - 2. 〇 ボタン⑤を押して、設定番号⑥を設定してください。

週間スケジュールタイマー設定M	設定番号D
表示無 (無)	01
週間 タイマ- (有)	02

※間違えた場合は 取消 ボタン④を押してください。

機種設定モードに戻りますので、6-5-1)項の操作からやり直してください。

●週間スケジュールが有効になっている場合は [2/19] ボタン③を押して無効にしてください。

调問タイマ

6-6 設定の終了

7-1 試運転

[速定] ボタン②を5秒間長押しする。

1. ____ ボタン①をして停止にします。

2. エニ ボタン②を5秒間長押しする。

4. 以下のボタン操作で試運転を開始

(週間タイマーが消灯します。)

●個別設定モード2が終了します。(停止状態になります)

● 点検 ④が点灯し自己診断モードになります。(図7-2)

● 試運転 ©が点灯し試運転モードになります。(図7-1)

⊇]:運転モードを冷房⇔暖房を切換えて試運転を開始

3. 冷媒アドレス®が "00" になっていることを確認し、 [Z=1] ボタン②を押す。

7 サービスモード



図7-1



(法定): 試運転を開始
5. 試運転の終了

- ・
 ・
 ・
 ボタン①で終了します。
- ・2時間経過で停止信号を送信します。

_____: 上下風向を切換えて試運転を開始

(____): 左右風向を切換えて試運転を開始

7-2 自己診断(図7-2)

- 1. ____ ボタン①をして停止にします。
- ●週間スケジュールが有効になっている場合は <u>□1</u> ボタン③を押して無効にしてください。 (週間タイマ-が消灯します。) ^{週19イマ-}
- 2.
 エー ボタン②を5秒間長押しする。
 - 点検 ④が点灯し自己診断モードになります。
- 3. 🜔 ボタン⑤を押して自己診断を行う室内ユニットの冷媒アドレス(M-NETアドレス)に⑧を 合わせる。

※アドレス表示は、スリムエアコンの場合は冷媒アドレス、マルチエアコンの場合はM-NET アドレスとなります。

- 4. [速定] ボタン④を押す。
 ●異常がある場合、室内ユニットからブザーの断続音、運転ランプの点滅により点検コードを 出力します。



●その他

点検コードの出力内容は下記をご覧ください。

 ※1. 自己診断開始の受信出力のみで、以後ブザー音なし、運転ランプ消灯のままの場合は、異常履歴はありません。
 ※2. 自己診断開始の受信出力後、ブザー音のみが連続3回出力 "ピーピーピー(0.4秒+0.4秒+0.4秒)"の場合は、 冷媒アドレス(M-NETアドレス)の指定が間違っています。

7-3 ユニットの機能選択

本設定はスリムエアコンの場合の設定方法です。マルチエアコンの場合は、室内及び室外制御基板上のディップスイッチで設定を行います。 ディップスイッチの設定方法はマルチエアコンの技術資料などを参照してください。

リモコンより必要に応じて各機能を設定します。

各ユニットの機能選択の対応項目(モード番号)については、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。

なお、ワイヤレスリモコン操作部からはワイヤレス機種が接続された冷媒系統のみ設定可能です。ワイヤレスリモコン操作部では冷媒アドレスの 指定はできません。



図7-3



- <機能選択の流れ>

 - 2. Z. Z. I ボタン②を5秒間長押しする。
 <u>「</u>ん検」④が点灯し自己診断モードになります。
 - 3. ボタン⑥を押してアドレスを設定し、ユニットの機能選択モードとする。(図7-3) モード番号01~28の設定する場合は、アドレス®を「50」に合わせる。 モード番号31~66の設定する場合は、アドレス®を「52」に合わせる。
 - ●ワイヤレスリモコン受光部に向けながら ■21 ●21 やします。(号機©が点滅します)
 - 4. ボタン⑥を押して号機 Cを設定対象ユニットに合わせる。(図7-4)
 - ●ワイヤレスリモコン受光部に向けながら [速定] ボタン④を押します。(モード番号⑩が点滅します) ※号機を受信したことで、確定された室内ユニットが送風運転を開始します。
 - 機能選択する号機の室内ユニットがどこにあるのか知りたい場合は、これにより確認ください。 なお、号機が "00" "AL" の場合は、同一冷媒内の全室内ユニットが送風運転になります。
 - ※選択できない号機を受信した場合は、ブザー音 "ピーピーピー(0.4秒+0.4秒+0.4秒)" が 出力されます。

正常に受信できなかった場合は、ブザー音がしない、もしくは "ピピッ" と出力されます。 この場合は、 取用 ボタン ⑤を押して、号機 ⑥が点滅表示している状態として。 再度、号機を 入力し直してください。

- 5. 🔿 ボタン⑥を押してモード番号◎を合わせる。(図7-4)
- ●ワイヤレスリモコン受光部に向けながら (速度) ボタン④を押します。(設定番号€)が点滅します) この時、ブザー音と運転ランプの点滅により、選択したモード番号に対する現在の設定番号を 出力します。
 - 現在の設定値=1の時:ピー(1秒)×1回
 - =2の時:ピー(1秒)×2回
 - =3の時:ピー(1秒)×3回
- ※設定できないモードを入力した場合は、ブザー音 "ピーピーピー(0.4秒+0.4秒+0.4秒)" が 出力されます。

正常に受信できなかった場合は、ブザー音がしない、もしくは "ピピッ"と出力されます。

- 6. ◇ ボタン⑥を押して設定番号€を選択する。(図7-4)
 - ●ワイヤレスリモコン受光部に向けながら (速度) ボタン④を押します。(モード番号[®]が点滅します) この時、ブザー音と運転ランプの点滅により、選択したモード番号に対する設定番号を出力します。 現在の設定値=1の時: ピーピー(0.4秒+0.4秒)×1回
 - =2の時:ピーピー(0.4秒+0.4秒)×2回
 - =3の時:ピーピー(0.4秒+0.4秒)×3回
 - ※設定できない番号を入力した場合は、元々設定されていた番号に設定されます。
 - ※正常に受信できなかった場合は、ブザー音がしない、もしくは "ピピッ" と出力されます。 この場合は、 [取消] ボタン⑤を押して、号機 ©が点滅表示している状態として、再度、5項から やり直してください。
- 空内ユニットの号機を変更せずに、更に他のモード番号の設定をする場合は5、6項を繰り返して ください。
- 8. 室内ユニットの号機を変更して、機能選択を行う場合は 取消 ボタン ⑤を押して、号機 ⑥が 点滅表示している状態にし、4~6項を繰り返してください。
- 9. 5. ボタン①を押して機能選択を終了します。

お 願 い

■機能選択終了後、約1分間はワイヤレスリモコンより操作しないでください。

■工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ずすべての設定内容を室内ユニット

据付工事説明書の機能選択項目表のチェック欄に〇印で記入してください。